

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
令和 3 年度第 1 回定時理事会議事録

I. 開催日時：令和 3 年 5 月 21 日（金）

13：02～13：46

II. 開催形式：Web 会議（Zoom）

III. 理事現在数、定足数、理事出席数とその氏名および欠席した理事の氏名（敬称略）

理事現在数 20 名

定足数 11 名

理事出席数 19 名

出席した理事の氏名

大川周治、馬場一美、志賀 博、横山敦郎（議事録作成者）、水口俊介、細川隆司、山口泰彦、佐藤裕二、山森徹雄、藤澤政紀、飯沼利光、河相安彦、大久保力廣、河野文昭、津賀一弘、武部 純、岡崎定司、服部佳功、村田比呂司

欠席した理事の氏名

窪木拓男

IV. 監事現在数、出席した監事の氏名および欠席した監事の氏名（敬称略）

監事現在数 2 名

出席した監事の氏名 佐藤 亨、小出 馨

V. 陪席者氏名（敬称略）

倫理審査委員会委員長 中本哲自

利益相反委員会委員長 都尾元宣

理事長幹事 岡本和彦、飯田 崇

総務幹事 坂口 究

事務局 石川義孝

出席した理事、監事および陪席者は、自宅または勤務先より、Web 会議システム（Zoom）を用いて参加した。

当該 Web 会議システムは、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等の意見表明ができる状態にあることが確認されて、議事に入った。

VI. 議長の氏名（敬称略）

大川周治

VII. 議題

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告の承認に関する件

第 2 号議案 令和 2 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および附属明細書ならびに財産目録の承認に関する件

第 3 号議案 令和 3 年度定時総会（6 月 18 日開催）招集に関する件

第 4 号議案 新入会員に関する件

第 5 号議案 新規指導医申請者承認の件

第 6 号議案 新規終身指導医承認の件

第 7 号議案 新規認定研修機関承認の件

第 8 号議案 規程集の改正および制定に関する件

VIII. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

1) 定足数の確認

定刻、理事長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は定款第 44 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、議題の審議に入った。

2) 議案の審議状況および議決結果等

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告の承認に関する件

議長から、令和 2 年度事業報告について別紙資料に基づき詳細な説明がなされた。

詳細な説明の後、佐藤監事と小出監事から、事業報告には、前年度の状況が正確に記載されており適正である旨の説明がなされた。

審議の結果、令和 2 年度事業報告は、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

第 2 号議案 令和 2 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および附属明細書ならびに財産目録の承認に関する件

議長の求めに応じ、山口財務担当理事から令和 2 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および附属明細書ならびに財産目録について別紙資料に基づき詳細な説明がなされた。

詳細な説明の後、佐藤監事と小出監事から、計算書類、附属明細書ならびに財産目録には、前年度の状況が正確に記載されており適正である旨の説明がなされた。

審議の結果、令和 2 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および附属明細書ならびに財産目録は、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

第 3 号議案 令和 3 年度定時総会（6 月 18 日開催）招集に関する件

議長ならびに横山常務理事から、定款第 23 条により、別紙資料に基づき、令和 3 年度定時総会を次の通り開催したい旨の提案がなされた。

審議の結果、提案通り出席理事全員一致にて承認した。

(1) 開催日時：令和 3 年 6 月 18 日（金）

13：00～15：00

(2) 開催場所：公益社団法人日本補綴歯科学会会

議室

会場を設定するが、コロナウイルス感染症拡大防止のため、運営関係者のみが参集する。代議員の会場への来場はできない。

(3) 開催形式：Web 出席型

会場での模様を Web で中継する。ただし、Web での参加による発言と議決権の行使を可能とする。

(4) 議案

第 1 号議案 令和 2 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および財産目録の承認に関する件

第 2 号議案 名誉会員推薦に関する件

第 3 号議案 2 年以上会費未納に伴う会員の除名に関する件

第 4 号議案 理事選任に関する件

第 5 号議案 監事選任に関する件

第 6 号議案 規程集改正に関する件

第 4 号議案 新入会員に関する件

議長から、定款第 7 条の規定により、別紙資料に基づき、令和 3 年 3 月 11 日から令和 3 年 4 月 30 日までの正会員 101 名の入会者について承認したい旨の提案がなされた。

審議の結果、正会員 101 名の入会者について、出席理事全員一致にて承認した。

第 5 号議案 新規指導医申請者承認の件

議長から、専門医制度規則第 9 条の規定により、令和 3 年 5 月 10 日に開催された令和 3 年度第 1 回修練医・認定医・専門医認定委員会において適格とされた 10 名の新規指導医について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

第 6 号議案 新規終身指導医承認の件

議長から、専門医制度施行細則第 11 条の規定により、令和 3 年 5 月 10 日に開催された令和 3 年度第 1 回修練医・認定医・専門医認定委員会において適格とされた 5 名の新規終身指導医について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

第 7 号議案 新規認定研修機関承認の件

議長から、専門医制度規則第 5 条の規定により、

令和 3 年 5 月 10 日に開催された令和 3 年度第 1 回修練医・認定医・専門医認定委員会において適格とされた 1 件の新規認定研修機関（甲）について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

第 8 号議案 規程集の改正および制定に関する件

議長から、規程集における以下の規程、誓約書および規則の制定について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた。

公益社団法人日本補綴歯科学会 研究補助金の取り扱いに関する規程【制定】

公益社団法人日本補綴歯科学会 学術研究に関する誓約書【制定】

公益社団法人日本補綴歯科学会 登録歯科技工士制度規則【制定】

審議の結果、制定案については原案通り出席理事全員一致にて承認した。

IX. 報告事項

1) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について

代表理事および業務執行理事から、職務執行状況についての報告がなされた。

2) 寄附金受入状況について

議長から、寄附金取扱規則第 6 条の規定により、別紙資料を基に、令和 3 年 3 月 1 日～令和 3 年 5 月 10 日までのところ、2 件の寄附金があり理事長が承認した旨の報告がなされた。

Web 会議システム（Zoom）を用いた本理事会は、終始異常なく意見表明が互いにできる状態であった。

以上をもって議事の審議ならびに報告等を終了したので、議長は 13 時 46 分閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、定款 47 条第 2 項の規定に基づき、議長代表理事（理事長）および出席監事が次に記名押印する。

令和 3 年 5 月 21 日

公益社団法人日本補綴歯科学会

議長 代表理事（理事長）大 川 周 治 ㊟

監事 佐 藤 亨 ㊟

監事 小 出 馨 ㊟

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
令和３年度第１回臨時理事会議事録

I. 開催日時：令和３年６月１８日（金）
10：10～10：23

II. 開催形式：Web 会議（Zoom）

III. 理事現在数、定足数、理事出席数とその氏名および欠席した理事の氏名（敬称略）

理事現在数 20 名

定足数 11 名

理事出席数 19 名

出席した理事の氏名

大川周治、馬場一美、志賀 博、横山敦郎（議事録作成者）、細川隆司、窪木拓男、山口泰彦、佐藤裕二、山森徹雄、藤澤政紀、飯沼利光、河相安彦、大久保力廣、河野文昭、津賀一弘、武部 純、岡崎定司、服部佳功、村田比呂司

欠席した理事の氏名

水口俊介

IV. 監事現在数、出席した監事の氏名および欠席した監事の氏名（敬称略）

監事現在数 2 名

出席した監事の氏名 佐藤 亨、小出 馨

V. 陪席者氏名（敬称略）

倫理審査委員会委員長 中本哲自

理事長幹事 岡本和彦、飯田 崇

総務幹事 坂口 究

事務局 石川義孝

出席した理事、監事および陪席者は、自宅または勤務先より、Web 会議システム（Zoom）を用いて参加した。

当該 Web 会議システムは、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等の意見表明ができる状態にあることが確認されて、議事に入った。

VI. 議長の氏名（敬称略）

大川周治

VII. 議題

第１号議案 公益社団法人の事業報告等に関する定期提出書類承認に関する件

第２号議案 新入会員に関する件

第３号議案 規程集の改正に関する件

VIII. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

1) 定足数の確認

定刻、理事長が議長席に着き開会を宣し、本理事会

は定款第 44 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、議題の審議に入った。

2) 議案の審議状況および議決結果等

第１号議案 公益社団法人の事業報告等に関する定期提出書類承認に関する件

議長から、公益法人の事業報告等に関する定期提出書類に関する件について、別紙資料に基づき説明がなされた。当該書類の提出につき、承認願いたい旨が諮られた。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。なお、定期提出書類の軽微な文言等の修正については、理事長に一任する旨の付帯決議が得られた。

第２号議案 新入会員に関する件

議長から、定款第 7 条の規定により、別紙資料に基づき、令和 3 年 5 月 1 日から令和 3 年 5 月 31 日までの正会員 45 名、準会員 4 名および賛助会員 1 社の入会者について承認したい旨の提案がなされた。

審議の結果、正会員 45 名、準会員 4 名および賛助会員 1 社の入会者について、出席理事全員一致にて承認した。

第３号議案 規程集改正および制定に関する件

議長から、規程集における以下の規程と申し合わせの改正について別紙資料に基づき承認したい旨の説明がなされた。

公益社団法人日本補綴歯科学会 JPR 投稿規程【改正】

公益社団法人日本補綴歯科学会 支部専門医研修会開催に関する申し合わせ【改正】

審議の結果、改正案については原案通り出席理事全員一致にて承認した。

IX. 報告事項

1) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について

代表理事および業務執行理事から、職務執行状況についての報告がなされた。

2) 寄附金受入状況について

議長から、寄附金取扱規則第 6 条の規定により、別紙資料を基に、令和 3 年 5 月 11 日～令和 3 年 5 月 31 日までのところ、1 件の寄附金があり理事長が承認した旨の報告がなされた。

Web 会議システム（Zoom）を用いた本理事会は、終始異常なく意見表明が互いにできる状態であった。

以上をもって議事の審議ならびに報告等を終了したので、議長は 10 時 23 分閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、定款 47 条第 2 項の規定に基づき、議長代表理事（理事長）および出席監事が次に記名押印する。

令和 3 年 6 月 18 日				
公益社団法人日本補綴歯科学会				
議長	代表理事（理事長）	大 川 周 治	⑩	
監事		佐 藤 亨	⑩	
監事		小 出 馨	⑩	

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会 令和3年度定時総会議事録

I. 開催日時：令和3年6月18日（金）

13：00～15：02

II. 開催形式：Web 出席型および Web 参加型

III. 出席した社員の数およびその行使することができる議決権の数

1) 議決権のある当法人の社員総数	285 名
2) 総社員の議決権の数	285 個
3) 出席社員数（委任状による者を含む）	232 名
4) この議決権の総数	232 個

IV. 出席役員等（敬称略）

代表理事 大川周治

理 事 大川周治, 馬場一美, 志賀 博, 横山敦郎（議事録作成者）, 水口俊介, 細川隆司, 窪木拓男, 山口泰彦, 佐藤裕二, 山森徹雄, 藤澤政紀, 飯沼利光, 河相安彦, 大久保力廣, 河野文昭, 津賀一弘, 武部 純, 岡崎定司, 服部佳功, 村田比呂司

監 事 佐藤 亨, 小出 馨

当該 Web 会議システムは、出席している役員等の音声と映像が、即時に Web で参加している役員、社員および会員等に伝わることを確認して、議事に入った。

開会に先立ち、司会者から、このたびの定時総会は COVID-19 感染拡大防止のため、開催形態を変更し、代議員は Web での視聴、発言および議決権の行使を可能とした Web 出席型として開催する旨、正会員は議決権の行使はできないが、Web での視聴、質問は可能である旨、Web 会議システムの操作方法と注意点等、このたびの開催形態に対するご意見やご感想などについては、次回以降の改善に反映させて戴きたい旨などについての説明がなされた。さらに、資料については、代議員には令和2年度事業報告と決議事項の資料は事前に郵送で配付している旨、事業報告以外の報告資料は本会 HP にアップロードされているのでご確認を戴きたい旨、正会員の方には、Web 会議システム上で資料を共有するのでご確認を戴きたい旨などについての説明がなされた。

V. 開会

定刻、横山常務理事から本日の社員総会は定款第26条に規定する定足数に達している旨の報告がなされた。

次いで、定款第24条の規定により、五味治徳代議員が議長に選ばれ、本会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

VI. 議事の経過の要領およびその結果

【報告事項】

令和2年度事業報告の件

議長の指名により、横山常務理事から、別紙資料「令和2年度事業報告」に基づき、当法人の令和2年度における事業報告が行われた。

【決議事項】

第1号議案 令和2年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および財産目録承認の件

議長の指名により、山口財務理事から、別紙資料「計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および財産目録」に基づき、令和2年度における貸借対照表、正味財産増減計算書等の説明があった。

これを受けて、佐藤監事と小出監事から、別紙資料「監査報告書」に基づき、この事業報告および決算書類には前年度の状況が正確に記載されており、適正である旨の説明があり、議長がその承認を求めたところ、承認多数で可決された。

第2号議案 名誉会員推薦に関する件

議長の指名により、横山常務理事から、別紙資料「名誉会員推薦書および略歴」に基づき、関西支部の矢谷博文会員と関越支部の渡邊文彦会員に関する名誉会員の推薦書および略歴等の説明があった。

次いで、議長が、矢谷博文会員と渡邊文彦会員を名誉会員へ推薦したい旨の承認を求めたところ、承認多数で可決された。

第3号議案 2年以上会費未納に伴う会員の除名の件

議長の指名により、横山常務理事から、別紙資料「2年以上の会費未納者一覧」に基づき、令和3年3月末日における2年以上の会費未納者に対する除名の説明があった。

次いで、議長が2年以上の会費未納者に対して除名したい旨の承認を求めたところ、承認多数で可決された。

第4号議案 理事選任に関する件

議長の指名により、馬場次期理事長候補から、現職理事の任期満了に伴い、その後任者を選任する必要がある旨の説明がなされ、続いて、別紙資料「理事予定者一覧」に基づき、後任の理事として20名の理事候補者を推薦したい旨の提案がなされた。

これを受けて議長が、後任の理事として、20名の理事候補者の選任に関する承認を求めたところ、異議なく承認された。

なお、被選任者は、全員その就任を承諾した。

理事 鮎川保則、飯沼利光、池邊一典、上田貴之、江草 宏、大久保力廣、河相安彦、木本克彦、窪木拓男、小見山 道、近藤尚知、澤瀬 隆、武部 純、二川浩樹、馬場一美、笛木賢治、細川隆司、松香芳三、山森徹雄、横山敦郎

第5号議案 監事選任に関する件

議長の指名により、馬場次期理事長候補から、現職監事の任期満了に伴い、その後任者を選任する必要がある旨の説明がなされ、続いて、別紙資料「監事予定者一覧」に基づき、後任の監事として2名の監事候補者を推薦したい旨の提案がなされた。

これを受けて議長が、後任の監事として、2名の監事候補者の選任に関する承認を求めたところ、異議なく承認された。

なお、被選任者は、全員その就任を承諾した。

監事 志賀 博、水口俊介

第6号議案 規程集の改正に関する件

議長の指名により、武部理事から、別紙資料「次々期理事長候補適任者選挙規則改正案」に基づき、改正案に係わる概要についての説明がなされた。

これを受けて議長が、「次々期理事長候補適任者選挙規則改正案」の承認を求めたところ、承認多数で可決された。

VII. 報告事項（事業報告以外の事項）

大川理事長から、磁性アタッチメントの保険収載確定に関する件、広告開示可能な補綴歯科専門医（仮称）に関するこれまでの進捗状況、取得に必要な追加要件（要点）（移行処置、新制度の更新要件、新規申請要件、関連学会との連携などについて）、会員に現時点における本件の進捗状況をお知らせするために、説明用の資料を作成して、メール配信および郵送により周知を図ったこと、また、資料

については、第130回学術大会のパネルディスカッションで説明する予定であること、この2年間における職務執行状況の総括などについての説明ならびに報告がなされた。最後に、理事長退任の挨拶が述べられた。

馬場副理事長、志賀副理事長からは、それぞれ自己の職務の活動状況に関する報告がなされた。

続いて、横山常務理事からは、別紙資料「令和3年度事業計画」と「社員（会員）の異動状況書」に基づき、令和3年度の事業計画と令和3年3月31日現在における社員（会員）の異動状況についての報告がなされた。

水口常務理事、細川理事、窪木理事、山口理事、佐藤理事、山森理事、藤澤理事、飯沼理事、河相理事、大久保理事、河野理事、津賀理事、武部理事、岡崎理事、服部理事、村田理事から、欠席した中本倫理審査委員会委員長と都尾利益相反委員会委員長については横山常務理事から、令和2年度6-3月期および令和3年度4-6月期における職務の活動状況に関する報告がそれぞれなされた。

Web会議システムを用いた本日の定時総会は、音声と映像が、終始問題なく、役員、社員および正会員等の出席者全員に伝わる状況であった。

議長は、以上をもって本日の議事は終了した旨を述べ、15時02分閉会を宣し、解散した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長および当該会議において選任された出席者の代表2名が、これに記名押印する。

令和3年6月18日

公益社団法人日本補綴歯科学会定時総会

議長	五味 治 徳 ㊟
理事	大川 周 治 ㊟
理事	馬場 一 美 ㊟

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
令和３年度第２回臨時理事会議事録

I. 開催日時：令和３年６月１８日（金）
15：03～15：31

II. 開催形式：WEB 会議（Zoom）

III. 理事現在数、定足数、理事出席数とその氏名および欠席した理事の氏名（敬称略）

理事現在数 20 名

定足数 11 名

理事出席数 20 名

出席した理事の氏名

馬場一美、窪木拓男、細川隆司、小見山 道（議事録作成者）、大久保力廣、江草 宏、池邊一典、横山敦郎、上田貴之、山森徹雄、松香芳三、鮎川保則、河相安彦、木本克彦、飯沼利光、澤瀬 隆、武部 純、近藤尚知、笛木賢治、二川浩樹

IV. 監事現在数、出席した監事の氏名および欠席した監事の氏名（敬称略）

監事現在数 2 名

出席した監事の氏名 志賀 博、水口俊介

V. 陪席者氏名（敬称略）

倫理審査委員会委員長 疋田一洋

利益相反委員会委員長 小川 匠

理事長幹事 高場雅之

総務幹事 飯田 崇

事務局 石川義孝、川口千香子

出席した理事、監事および陪席者は、自宅または勤務先より、Web 会議システム（Zoom）を用いて参加した。当該 Web 会議システムは、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等の意見表明ができる状態にあることが確認されて、議事に入った。

VI. 議長の氏名（敬称略）

馬場一美および小見山 道

VII. 議題

第 1 号議案 理事長選定の件

第 2 号議案 副理事長選定の件

第 3 号議案 常務理事選定の件

第 4 号議案 委員長、委員、幹事の委嘱の件

VIII. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

1) 定足数の確認

定刻、小見山理事が開会を宣し、本理事会は定款第 44 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に

成立した旨を告げ、議題の審議に入った。

2) 議長の選出

馬場理事より、理事長未選定のため、出席理事の互選により議長を選出する必要があるため、本日の第 1 号議案の審議までの議長を選出したい旨が述べられた。これを受けて、各理事による互選の結果、小見山理事が本日の第 1 号議案の審議までの議長となることが、出席理事全員一致にて承認された。

3) 議案の審議状況および議決結果等

第 1 号議案 理事長選定の件

議長から定款第 31 条第 2 項および役員選任規程第 2 条に基づき、馬場理事を理事長として選定したい旨の説明がなされた。

審議の結果、出席理事全員一致にて承認した。続いて、小見山理事より、以後の議事については、定款第 43 条第 1 項の規定により、理事長が議長となることが説明され、各理事から異議が述べられなかったため、以後は馬場理事長が議長を務めた。

第 2 号議案 副理事長選定の件

議長から定款第 31 条および役員選任規程第 3 条に基づき、窪木理事、細川理事を副理事長として選定したい旨の説明がなされた。

審議の結果、出席理事全員一致にて承認した。

第 3 号議案 常務理事選定の件

議長から定款第 31 条および役員選任規程第 4 条に基づき、小見山理事、大久保理事を常務理事として選定したい旨の説明がなされた。

審議の結果、出席理事全員一致にて承認した。

第 4 号議案 委員長、委員、幹事の委嘱の件

議長から役員等の会務担当規程第 3、4 および 6 条に基づき、別紙資料の通り、委員長、委員、幹事を委嘱したい旨の説明がなされた。

審議の結果、出席者理事全員一致で承認した。

IX. 報告事項

1) その他

馬場理事長から、別紙資料を基に、今期の各委員会における活動指針について説明がなされた。

以上をもって議事の審議ならびに報告等を終了したので、議長は 15 時 31 分閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事および監事が記名押印する。

令和3年6月18日

公益社団法人日本補綴歯科学会

議長	代表理事（理事長）	馬場	一	美	㊟
副理事長		窪木	拓	男	㊟
副理事長		細川	隆	司	㊟
常務理事		小見山		道	㊟
常務理事		大久保	力	廣	㊟
理事		江草		宏	㊟
理事		池邊	一	典	㊟
理事		横山	敦	郎	㊟
理事		上山	貴	之	㊟
理事		山森	徹	雄	㊟
理事		松香	芳	三	㊟
理事		鮎川	保	則	㊟
理事		河相	安	彦	㊟
理事		木本	克	彦	㊟
理事		飯沼	利	光	㊟
理事		澤瀬		隆	㊟
理事		武部		純	㊟
理事		近藤	尚	知	㊟
理事		笛木	賢	治	㊟
理事		二川	浩	樹	㊟
監事		志賀		博	㊟
監事		水口	俊	介	㊟

公益社団法人日本補綴歯科学会

令和2年度6-3月期および令和3年度4-6月期委員会活動報告

(令和2年6月22日～令和3年6月18日)

I.	はじめに	(理事長：大川 周治)
II.	学術委員会	(委員長：水口 俊介)
III.	JPR 編集委員会	(委員長：細川 隆司)
IV.	編集委員会	(委員長：窪木 拓男)
V.	財務委員会	(委員長：山口 泰彦)
VI.	広報委員会	(委員長：佐藤 裕二)
VII.	医療問題検討委員会	(委員長：山森 徹雄)
VIII.	診療ガイドライン委員会	(委員長：藤澤 政紀)
IX.	教育問題検討委員会	(委員長：飯沼 利光)
X.	修練医・認定医・専門医制度委員会	(委員長：河相 安彦)
XI.	修練医・認定医・専門医認定委員会	(委員長：大久保力廣)
XII.	社会連携委員会	(委員長：河野 文昭)
XIII.	国際渉外委員会	(委員長：津賀 一弘)
XIV.	規程検討委員会	(委員長：武部 純)
XV.	用語検討委員会	(委員長：岡崎 定司)
XVI.	研究企画推進委員会	(委員長：服部 佳功)
XVII.	特命委員会	(委員長：村田比呂司)
XVIII.	倫理審査委員会	(委員長：中本 哲自)
XIX.	利益相反委員会	(委員長：都尾 元宣)
XX.	優秀論文賞推薦委員会	(委員長：馬場 一美)
XXI.	学会賞推薦委員会	(委員長：志賀 博)

I. はじめに

公益社団法人日本補綴歯科学会 理事長 大川周治

公益社団法人日本補綴歯科学会の令和2年6月22日から令和3年6月18日までの委員会活動を報告いたします。「食力向上による健康寿命の延伸」というテーマの下、各委員会の先生方に非常に多くの業務を遂行していただきました。COVID-19の世界的な感染拡大、蔓延という緊急事態の中、第130回記念学術大会（オンライン、Webライブおよびオンデマンド見逃し配信のハイブリッド開催：水口俊介大会長）の企画準備、JPRのJ-stage（フルオープン）への移行完了、日補綴会誌の整備、9件の医療技術評価提案書の作成、7件における他学会との医療技術評価の共同提案、選定療養の提案、『歯保連試案2020』の策定、2020年

度認定医・専門医試験の実施（全国同時開催：令和2年12月13日（日）13:00～13:50）、診療ガイドライン1編の作成と3編の改訂、新設した修練医・認定医・専門医制度の運用と認定作業、補綴歯科専門医の広告開示へ向けた申請書類の作成・提出、第3回JPS SCSCの開催・表彰、The 7th Biennial Congress of JPS-CPS-KAPのオンライン開催（令和3年2月19日～27日：鯨見進一大会長）、各種委員会のWeb会議システムによる開催を主因とする収支決算の短期的黒字化、社員ML・メルマガ・フェイスブック・HPを活用したアグレッシブな広報活動、歯科補綴学教育基準2021（案）の作成、補綴歯科専門医の教育目標の策定、登録歯科技工士制度の設立、老年精神医学会との共同研究プロジェクト（（通称）認知症プロジェクト）の始動等、枚挙に暇がありません。昨年度に続き、本当に大変な1年だったと思います。総務をはじめ、理事、委員長、委員、監事、幹事の先生方、そして事務局員、関係各位のご尽力にこの場をお借りして感謝

申し上げます。

以上の活動報告をもちまして、公益社団法人日本補綴歯科学会第38代理事長の任を終えます。2年に渡り、大変お世話になりました。馬場新体制になりましたが、引き続き、ご協力ご支援の程よろしくお願いいたします。

II. 学術委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：水口俊介

副委員長：江草 宏

委員：疋田一洋, 馬場俊輔, 菅沼岳史,
鮎川保則, 山下秀一郎, 谷田部 優,
渡邊 恵, 正木千尋

幹事：猪越正直

2. 活動状況

学術委員会を6回、プログラム委員会を2回、第3回 JPS student clinical skills competition (JPS SCSC) 審査委員会を1回開催し、以下の活動を行った。

1) 第130回記念学術大会企画準備

(1) 会期：令和3年6月18日（金）～6月20日（日）

(2) 会場：オンライン開催

(3) 主管校：東京医科歯科大学

(4) 大会長：水口俊介, 準備委員長：金澤 学

(5) 総演題数：

(課題口演：9演題, ポスター：151演題)

(6) 学術企画

a. 理事長講演：

「補綴の矜持」

b. 第130回記念パネルディスカッションー補綴歯科の力を示すー

c. 海外特別講演：

「Adhesive luting protocols of indirect restorations」

d. メインシンポジウム

1. 「審美修復材料を極めるー基礎から臨床まで」

2. 「多角的な視点から食力を考える」

e. シンポジウム

1：「パーシャルデンチャーデジタル化への現状と課題」

2：「補綴医に必要な覚醒時ブラキシズムの検査と診断」

3：「歯を守る修復治療歯根破折を起こさないために」

4：「義歯洗浄剤, 洗浄システムの適応と効果」

5：「デイスファンクションとパラファンクションの顎運動と下顎位」

6：「バイオマテリアルの限界とインプラント治療」

7：「睡眠時無呼吸症の口腔内装置による治療」

8：「アップデート咬合論」

9：「インプラントの連結様式を再考する」

10：「先端歯学研究のあり方から歯科補綴学を考える」

f. 医療問題検討委員会連携企画：

「前歯にも保険適用されたCAD/CAM冠の安全な使い方」

g. 臨床リレーセッション

1. 「欠損補綴におけるインプラントの効果ー特に被圧変位量の差に着目してー」

2. 「欠損補綴における補綴装置と支台歯の選択」

h. イブニングセッション

1. 「Challenge to changeー全部床義歯補綴教育の今と未来を紐解くー」

2. 「スクリュー固定によってインプラント周囲炎は防げるのか？」

3. 「メタルフリー支台築造の新しい設計指針」

4. 「間葉系幹細胞の研究から考える生物科学としての補綴歯科治療」

5. 「歯科金属アレルギー患者への対応ー検査, 診断, 治療方針と他科連携ー」

i. e-ハンズオンセミナー

1. 「軟質材料を用いたリラインの実践ー臨床の疑問に答えるー」

2. 「ファイバーポストレジンコアをマスターする」

3. 「口腔機能検査の効果的活用法」

j. 専門医研修会：

「補綴歯科専門医として身につけるべきコンピテンス（その3）日々の臨床にリサーチマインドを如何に連関させるか？」

k. スポンサーセッション：

1. 「義歯の管理にどう使う？義歯安定剤」

2. 「CARES Implant BridgeーSakura インプラントブリッジにおける優位性と技工の注意点ー」

3. 「ミリングシステムによるデジタルデンチャーの夜明け」

4. 「デジタル補綴に変革をもたらす次世代セラミックブロック「ジーシー イニシャル LiSi ブ

ロック」

5. 「口腔内スキャナーで実現するウェルネスクャンー iTero エレメント 5D から始まる口腔衛生管理」
6. 「チェアサイドや訪問診療で安全・確実に直接リラインを成功させるコッー光硬化型リライン材の活用法」
7. 「S-PRG フィラー含有材料の現状と補綴領域における将来展望」
- (7) 他学会との共催、後援
共催：日本口腔インプラント学会，日本睡眠歯科学会，日本顎咬合学会，先端歯学国際教育研究ネットワーク，日本接着歯学会，日本デジタル歯科学会
後援：日本口腔インプラント学会，日本睡眠歯科学会，日本顎咬合学会，先端歯学国際教育研究ネットワーク，日本接着歯学会，日本デジタル歯科学会，日本歯科医師会，日本歯科医学会，日本歯学系学会協議会，日本歯科医学会連合，東京都歯科医師会，日本歯科技工学会，日本歯科技工士会，日本栄養士会，日本老年歯科医学会
- (8) 課題口演賞ならびにポスター発表優秀ポスター賞審査員の選考
採点集計への Google Form の採用
- (9) プログラム・企画演題抄録・一般演題（ポスター）抄録
プログラム・企画演題抄録集の印刷
一般演題（ポスター）抄録集ホームページへのアップロード（学会員ダウンロード用）
- (10) Doctorbook のシステムを用いたリアルタイムアンケートの運用
- 2) 学部学生技能コンペティション「第3回 JPS student clinical skills competition (SCSC)」の企画と広報（教育問題検討委員会と連携）
 - (1) 会期：令和3年2月末日まで
 - (2) 会場：なし
 - (3) 所掌委員会：学術委員会，教育問題検討委員会
 - (4) 審査委員：水口俊介，飯沼利光，疋田一洋，山下秀一郎，江草 宏，鷹岡竜一
 - (5) 優秀賞の選定：コロナ禍のため，一次審査のみ実施した。
- 3) The 7th Biennial Congress of JPS-CPS-KAP 企画準備
企画・演者・審査員の選定
 - (1) 会期：令和3年2月19日～27日
 - (2) 会場：オンライン

(3) 大会長：鱒見進一

(4) 演者：神野洋平，和田誠大，河相安彦，隅田由香，疋田一洋，池邊一典

(5) 審査員：鮎川保則，正木千尋，渡邊 恵，峯 篤史

4) プロソ'21

企画・演者の選定

5) プロジェクト研究

公募用テーマの作成，研究費申請公募の選定

III. JPR 編集委員会

1. 委員会構成

委員長：細川隆司

副委員長：皆木省吾

委員：池邊一典，加来 賢，笛木賢治，柴田 陽，多田紗弥夏，新谷明一

幹 事：向坊太郎

2. 活動状況

1) 会議開催状況

令和2年度

第1回：2020年7月10日（金）

14：00～15：45（オンライン会議）

第2回：2020年9月18日（金）

15：00～16：15（オンライン会議）

第3回：2020年12月4日（金）

16：00～16：45（オンライン会議）

令和3年度

第1回：2021年2月5日（金）

16：00～16：50（オンライン会議）

第2回：2021年5月14日（金）

15：00～16：00（オンライン会議）

2) 投稿原稿に対する可及的早期の採否判定

3) 受理された論文の早期公開と迅速な出版

4) JPR 誌 64 巻 4 号，65 巻 1 号の発刊および 65 巻 2 号の掲載論文の選定

5) JPR Best Paper Award 該当論文についての資料収集と所掌委員会への推薦

6) 令和3年度研究費助成事業（研究成果公開促進費）への応募および交付申請

7) J-STAGE への業務委託

(1) JPR のウェブプラットフォームの提供

(2) Clarivate 社 Web of Science への論文データ提供

(3) PubMed Data Management (PMDM) への論

文データ提供

8) 株式会社アトラスへの業務委託

(1) Editorial Manager の運用

9) 壮光舎への業務委託

(1) JPR 冊子体の発行, 購読会員への発送

10) 日本補綴歯科学会事務局内での業務

(1) 投稿論文のテクニカルチェック, 剽窃チェック
(2) 論文アクセプト後, 非 JPS 会員著者への論文掲載料の請求

(3) DOI 申請

(4) 組版作業, 著者校正依頼

(5) J-STAGE での早期公開掲載作業

(6) J-STAGE での本公開掲載作業

IV. 編集委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長: 窪木拓男

副委員長: 黒岩昭弘

委員: 金澤 学, 鈴木秀典, 福西美弥, 二川浩樹

幹事: 前川賢治

2. 活動状況

委員会活動 編集作業やその他の審議事項について, 適宜メール会議 (10 回) を開催した。

1) 12 巻 3 号 (2020.7.10 発刊)

依頼論文: 4 編, 症例報告: 1 編, 専門医症例報告: 7 編

+ 広告 合計 114 頁, 発行部数 6,438 部

2) 12 巻 4 号 (2020.10.10 発刊)

依頼論文: 4 編, 症例報告: 1 編, 専門医症例報告: 7 編

+ 前付・広告 合計 94 頁, 発行部数 6,102 部

3) 13 巻 1 号 (2021.1.10 発刊)

依頼論文: 5 編, 原著論文: 1 編, 症例報告: 1 編, 専門医症例報告: 9 編

+ 前付・広告 合計 126 頁, 発行部数 6,136 部

4) 13 巻 2 号 (2021.4.10 発刊)

依頼論文: 4 編, 原著論文: 2 編, 専門医症例報告: 9 編

+ 前付・広告 合計 104 頁, 発行部数 6,269 部

5) 令和 2 年 4 月から令和 3 年 4 月末時点での投稿論文数は, 原著 6 編, 症例報告 3 編であり, 受理 4 編, 査読中 4 編である。

6) 著作権が日本補綴歯科学会誌にある図表の掲載許可を行った。

V. 財務委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長: 山口泰彦

副委員長: 小見山 道

委員: 坂口 究

幹事: 前田正名

2. 活動状況

1) 財務委員会の開催 (計 4 回, 内 3 回は web 会議, 1 回はメール会議)

2) 学術大会および各支部会計報告を基にした収支計算書の作成 (1 か月に 1 回)

3) 第 17 期決算報告書 (自: 令和 2 年 4 月 1 日, 至: 令和 3 年 3 月 31 日) の作成と検討

4) 第 129 回学術大会決算案の検討および承認

5) 第 131 回学術大会予算案の検討および承認

6) 令和 3 年度事業計画および予算概要作成の依頼

7) 令和 3 年度収支予算案の作成

8) 交通費, 謝礼金等の支払い方法の検討

9) 会費の自動振り込みに関する案内の整備

10) 令和 3 年度資金調達及び設備投資の見込みに関する審議

11) 委員会用・支部用事業計画および予算概要フォーマットの改訂

12) 公印の管理

13) 各支部および委員会等からの問い合わせへの回答

VI. 広報委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長: 佐藤裕二

副委員長: 長島 正

委員: 近藤尚知, 堀 一浩, 岡本和彦, 鈴木恭典, 新村弘子, 田地 豪, 松浦尚志, 飯島裕之

幹事: 下平 修

2. 活動状況

1) 広報委員会の開催

令和 3 年 3 月 9 日 (火) 18:00 ~ 19:00 に WEB によるリモートで委員会を開催した。会議内容は, 令和元年度 6-3 月期および令和 2 年度 4-6 月期 広報委員会活動報告, 歯学系学会協議会を通じた広報の提案について, 委員長会での広報委員会提案について, Letter for Members の紙面案, 「補綴

の日」ポスターについてなどであった。

メールマガジン、ニュースレターの内容確認と修正に関する協議はメールにて随時行っている。

2) 日本補綴歯科学会ホームページの改修、改訂、更新

(1) 昨今の世情を鑑み、学会ホームページ (www.hotetsu.com) の常時 SSL 化 (http → https) を行った。

(2) 各委員会へ、学会ホームページの関連・所轄部分の確認をお願いした。

(3) 令和 2 年 6 月 22 日から令和 3 年 5 月 31 日まで、毎週月曜に更新を実施している。今年度は、学会の歴史などの内容の充実および表記の刷新を行った。

3) メールマガジンの発行

令和 2 年 6 月 26 日から令和 3 年 7 月 9 日 (予定) までの間に JPS メールマガジン No.187 ~ No.212 を発行した。必要な情報を簡潔に網羅し、問題なく隔週で行っている。今年度は、アーカイブ化を行った。

4) ニュースレター (Letter for Members) の発行

国際交流や表彰などの記録を残すことに留意した。令和 2 年 6 月 22 日から令和 3 年 5 月 31 日までに下記の発行を行った。

(1) 令和 2 年 10 月号 (No.67)

- 第 2 回 JPS student clinical skills competition について
- 令和 2 年度公益社団法人日本補綴歯科学会定時総会を終えて
- 第 129 回学術大会
 - 第 129 回学術大会
 - 令和 2 年度専門医研修会報告
 - シンポジウム開催報告
- 受賞者の声
 - 令和元年度学会優秀論文賞
 - 第 129 回学術大会優秀賞
- 「補綴の日」記念日登録につきまして

(2) 令和 3 年 4 月号 (No.68) 予定

- 4 月 12 日は「補綴の日」
- 支部学術大会報告
- 令和 2 年度日本歯科医学会会長賞受賞のご報告
- The 7th Biennial Joint Congress of CPS-JPS-KAP (日中韓合同補綴学会) 開催報告
- 1st Asian Academy of Prosthodontics Virtual Scientific Meeting 報告
- 48th IPS National Virtual Conference 2020 の

報告

- 認定医・専門医筆記試験の全国同時一斉開催
- 補綴関連講座・分野新教授紹介
- 学会 HP, メールマガ, Letter for members, フェイスブックの紹介

5) SNS の活用

Facebook へ令和 2 年 6 月 22 日から令和 3 年 4 月 26 日までに 147 件の記事を投稿した。新たに有料広告を利用して、社会への周知を図ることとした。

6) 「補綴の日」に関する業務

「補綴の日」のポスター (国民対象および歯科関係者対象)、リーフレットを制作した。

7) その他

特になし。

VII. 医療問題検討委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：山森徹雄

副委員長：田上直美

委員：猪子芳美, 上田貴之, 竹内義真, 田邊憲昌, 玉置勝司, 西山雄一郎

オブザーバー：大川周治, 田中順子

幹事：松本知生

2. 活動状況

コロナ禍のため、対面での委員会は開催されず、オンライン会議を 2 回開催し、必要に応じて適宜メール会議を実施して以下のことを行った。

1) 日本歯科医学会連合 医療問題関連事業 応募課題について

(1) 岩手医科大学の鬼原英道先生により作成された報告書について、山森委員長が各委員からの意見をとりまとめて本委員会案を作成し、大川理事長ならびに学会事務局に提出した。和文報告書は日本歯科医学会連合に提出し、英文論文は JPR に投稿したが、リジェクトとなったため Japanese Dental Science Review へ投稿した。

(2) 「無歯顎補綴歯科治療におけるデンチャースペース記録法の有効性に関する調査研究」について、九州歯科大学の鱈見進一先生により作成された報告書について、山森委員長が各委員からの意見をとりまとめて本委員会案を作成し、大川理事長ならびに学会事務局に提出した。和文報告書は日本歯科医学会連合に提出し、英文論文は JPR に投稿し受理された。

- (3) 令和3年度医療問題関連事業の「課題」募集について、山森委員長から各委員へ担当についての候補者推挙が要請された。田上副委員長からPEEKに関する課題を候補とすることへの提案があった。担当者として広島大学の津賀先生、安部倉先生が推薦され、本委員会および本人からの賛同が得られたため、応募書類を事務局に提出した。
- 2) 【日本歯科医学会連合】令和2年度医療問題関連事業の依頼課題について
- (1) 「人工歯をポンティックとする接着欠損補綴法」について、提出された長崎大学の田上先生作成の論文について、本委員会で確認した。和文報告書は著者による修正後、委員長会メンバーにも確認いただいたうえで、歯科医学会連合に提出した。英文論文については委員長会メンバーによる確認後、JPRへの投稿したが、リジェクトとなったためJapanese Dental Science Reviewへ投稿した。
- (2) 「顎欠損部と周囲組織の光学印象」について、東京医科歯科大学の隅田先生から提出された英文論文について、本委員会で確認した後、補綴学会の理事、監事、委員長による確認を依頼し、JPRへ投稿した。和文報告書について、理事らによる確認のうえ、学会事務局から日本歯科医学会連合に提出した。
- 3) 転載許諾について
- (1) 転載許諾（クインテッセンス出版）について
対象となる視覚素材をご提供いただいた田中順子先生を含め、各委員に転載許諾についてご意見を伺ったところ、内容としては本学会HP掲載データからの転載に問題はないことが確認され、その旨を学会事務局に報告した。
- (2) 転載許諾（千乃コーポレーション）について
医療問題検討委員会で以前に作成した「有床義歯咀嚼機能検査の指針」に掲載されている下顎運動経路の図について、国家試験参考書の「必携」への転載許諾の要請があり、是否につき審議するよう依頼があった。各委員に転載許諾についてご意見を伺ったところ、転載に問題はないことが確認され、その旨を学会事務局に報告した。
- 4) 医療技術評価提案書関連
- (1) 医療技術評価提案書のテーマ検討、選定、作成について
標記テーマについては令和元年度より継続的

- に検討を進めていたが、歯科医学会から提供された提案書作成のための資料を各委員に送付し、テーマの絞り込みと仕上げを行った。本学会から提出する未収載のテーマとして、①接着性レジンセメントを用いた人工歯による欠損補綴処置、②顎堤吸収が高度に進行した下顎総義歯患者へのデンチャースペース検査、③金属アレルギー患者へのジルコニアによる前歯部CAD/CAMブリッジ、④PEEKによる大臼歯歯冠修復物、⑤異常絞扼反射患者に対する口腔内装置製作のための光学印象法、⑥インフォームド Consentへの口腔内スキャン検査の応用の6件が、既収載のテーマとして、⑦チタンおよびチタン合金による前歯部レジン前装金属冠、⑧有床義歯咀嚼機能検査の実施期間の延長、⑨即時義歯の仮床試適、⑩有床義歯咀嚼機能検査の適応症例の拡大の4件が作成された。なお、PEEKによる大臼歯歯冠修復の医療技術評価提案書は、広島大学の津賀先生により作成され、委員会でブラッシュアップを行った。
- (2) 日本歯科保存学会からの医療技術提案書の要請について
日本歯科保存学会からCAD/CAMインレー修復に対する光学印象法、CAD/CAMインレー修復物の2点について本学会の見解提示の要請があったため、本委員会の意見を取りまとめ報告した。また、歯科用合着・接着材料Ⅲ（仮着セメントを除く）の廃止の提案について、本学会との共同提案の依頼があった。
- (3) 医療技術評価提案書に関する日本審美歯科学会との連携について
日本審美歯科学会の担当者である小川 匠先生より共同提案の相談を受けた。結果的に(1)①、⑦については、日本審美歯科学会が共同提案団体となり、以下の4件、すなわち臼歯部プロビジョナルクラウン、器械測色法による色調採得検査、歯科用CAD/CAM装置を用いたファイバー補強高強度硬質レジンブリッジ、前歯部CAD/CAM冠のコーティングについては日本審美歯科学会が提案書を作成し、本学会が共同提案学会となることとなった。本学会の大川理事長と日本歯科審美学会の藤澤理事長との間で同意が得られた。
- (4) 医療技術評価提案書に関する日本老年歯科学会、日本口腔検査学会、日本歯周病学会との連携について

- (1) ②, ⑧～⑩については日本老年歯科医学会, 日本口腔検査学会と日本歯周病学会に共同提案を要請し, 承諾が得られた。
- (5) 日本顎顔面インプラント学会との連携について
日本顎顔面インプラント学会より共同提案の依頼があった。共同提案に賛同するものの, 提案書の修正が望まれる内容を添えて学会事務局に提出した。後日, 先方より修正を加えた提案書について確認が要請された。これに対して本委員会からは新たなコメントを添えて, 共同提案に賛同する旨を確認し, 事務局に提出した。
- (6) 日本顎顔面補綴学会との連携について
日本顎顔面補綴学会の米原理事長より3件のテーマについて共同提案の要請があり, 本委員会での検討が求められた。内容を確認し共同提案に賛同する旨を学会事務局に報告した。
- 5) 不採算要望書に関する本学会の意見書について
合着材についてメーカーから本学会へ要請があり, 田上副委員長を中心に各委員からの意見を出し合い, 本委員会案を学会事務局に提出した。
- 6) 新型コロナウイルス感染症に関する調査(委員会案)について
新型コロナウイルス感染症に関する調査(日本歯科医学会事務局)について, 山森委員長より各委員の意見をとりまとめ委員会案を作成し, 委員会最終案を大川理事長にご確認いただいた後, 日本歯科医学会事務局へ提出した。
- 7) CAD/CAM 冠の治療指針の改訂について
第3回委員長会後にいただいた藤澤委員長からの提案および厚生労働省担当者からの修正案に基づき標記指針の本委員会案をまとめ, 大川理事長ならびに学会事務局に提出した。これに対して理事会メンバーからの意見を募り, その対応を委員会で検討して, 最終的な委員会案を策定した。
- 8) 磁性アタッチメントに関する事項について
(1) 磁性アタッチメント医療課ヒアリングに対する回答書への追加事項について, 標記ヒアリングの概要に対する追加事項の作成が大川理事長より要請された。大久保力廣先生ならびにNEOMAX エンジニアリング株式会社 菊池様からの情報提供を受け, 各委員からの意見を取りまとめて本委員会案を作成して, 大川理事長ならびに学会事務局に提出した。
- (2) 磁性アタッチメント(ヒアリング・回答案) 委員会検討結果について, 標記回答案について検討した結果, 本委員会案を作成して, 大川理事

- 長ならびに学会事務局に提出した。
- (3) 磁性アタッチメントの保険導入について, 大川理事長より, 磁性アタッチメントキーパーを設置する歯の呼称を鉤歯ではなく支台歯とすることについて確認が求められた。また, 全部床義歯タイプのオーバーデンチャーへの磁性アタッチメントの保険導入について委員に意見が求められ, 全員賛成で可決された。
- 9) 歯学系学会社会保険委員会連合からの連絡について
(1) 『歯保連試案 2020』について
①作成に関与した委員を掲載メンバーとして歯保連へ報告した。
②項目確認について担当の一世出版より最終確認の案内があり, また, 提示された疑義に回答した。
- (2) 歯学系学会社会保険委員会連合より, 2019年度決算について加盟の28学会のうち18学会から諾の回答があり, 承認されたとの報告があった。
- 10) HP 掲載事項の確認結果について(医療問題検討委員会)
広報委員会からの要請を受け, 委員で分担して本委員会が担当するHP掲載事項に対する修正内容を山森委員長を中心に取りまとめ, 佐藤裕二広報委員長へ報告した。
- 11) 令和3年度事業計画および予算概要の作成について
上記内容について事業計画および予算概要の作成を行い, 事務局へ提出した。
- 12) 選定療養に導入すべき事例等に関する提案について
標記について委員長会メンバーに提案が要請され, 提出された以下の3項目について本委員会でも検討し, 以下の結論に達した。
- (1) 上顎金属床総義歯に関してオーバーデンチャーも可とする。
→提案のとおり選定療養の適用拡大を申請する。
- (2) 義歯の名入れ
→「療養の給付と直接関係ないサービス等」に入っていることから, 診療とは別に料金を設定することが可能である。よって, 選定療養の申請には入れず, 後ほどガイドラインなどの作成について委員会での検討課題とする。
- (3) 重度の歯石・着色のある義歯の専門的クリーニ

ング

→多くの場合は「歯リハ1」に包含して対応されていると考えられるが、義歯の機能維持のための調整とは異なり、研磨か専用の洗浄剤による超音波洗浄などが必要である。ただし、「重度」の基準設定が困難と考えられるため、「義歯に沈着した歯石・着色に対する専門的クリーニング」として提案する。

上記の3件について、令和3年度第1回委員長会に諮り賛同を得た。

13) 分割大白歯のCAD/CAM冠に関する厚労からの質問について

前期委員会での検討内容を田中順子オブザーバーに確認したうえで、標記について委員会での意見に基づき、厚生労働省への回答案を策定した。

14) 「高規格義歯」に関する検討について

MBexより高規格義歯の提案があり、医療技術評価提案書への可能性について山森委員長が要請を受けた。本件については、必要な調査を行なったうえで、本委員会として必要な作業が発生した場合に要請を受けることとなった。

15) 各種委員会・会議への参加について

(1) 令和2年9月8日開催の歯科医療協議会研修会(Web参加)について

参加者は、田上副委員長、竹内委員(オンライン参加)とし、上記研修会の内容についての報告が田上副委員長、竹内委員からなされた。

(2) 令和2年度医療事故調査制度研修会報告について(Web開催)

令和3年2月13日に開催される標記研修会に、本委員会から田上副委員長が出席した。

(3) 次期診療報酬改定における医療技術評価提案書に係る説明会の開催案内について(Web開催)

令和3年3月16日に開催された標記研修会に、本委員会から山森委員長、竹内委員が出席した。

VIII. 診療ガイドライン委員会

1. 委員会構成

委員長：藤澤政紀

副委員長：西村正宏

委員：鬼原英道、中島純子、丸尾勝一郎、

水口 一、峯 篤史

幹事：村上小夏

2. 活動状況

- ・令和2年度第2回診療ガイドライン委員会(オンライン会議)2020年7月13日(月)
- ・令和2年度第3回診療ガイドライン委員会(オンライン会議)2020年9月28日(月)
- ・令和2年度第4回診療ガイドライン委員会(オンライン会議)2020年12月14日(月)
- ・令和2年度第5回診療ガイドライン委員会(オンライン会議)2021年2月15日(月)
- ・令和3年度第1回診療ガイドライン委員会(オンライン会議)2021年4月19日(月)
- ・令和3年度第2回診療ガイドライン委員会(オンライン会議)2021年5月24日(月)(予定)
- ・必要に応じ、適宜メール会議を実施

3. 活動内容

1) 「ブラキシズムの診療ガイドライン」治療編の作成

作成が完了し学会HPで掲載およびメルマガにて学会会員への周知がおこなわれた。

現在、Mindsでの「公開後評価の流れ」の中の「1次スクリーニング」を終えている段階であり、今後4-5月に行われる「AGREEII評価(3次スクリーニング)」、「選定部会」を受ける予定である。

2) 「摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン」の改訂作業

改訂作業が終了し、パブリックコメントの回答を経て学会内HPで掲載された。今後、Minds掲載へ向けて申請を行う予定である。

3) 「リラインとリベースのガイドライン」の改訂作業

現在CQ1-1からCQ1-6までのSRレポートとエビデンス総体を作成した段階である。CQ2に対しては、現行のガイドラインを基に今後進めていく予定である。また構造化抄録のまとめは治療指針(CQ2)と推奨文チーム(CQ1)の2本立てとすることが委員会内で決定し、各所へ依頼していく予定である。

4) 「接着ブリッジのガイドライン」の改訂作業

(改訂すべき項目を選定するために、現状のエビデンス蓄積状況を再確認した。)そのうえで改訂すべき項目として3項(現CQ8,14およびノンメタル材料に関する新CQ)を候補とし、パブリックコメントを応募した。パブリックコメントを受け、さらに委員会にて現ガイドライン(冒頭に「メタル材料に限定すること」が明記)にノン

メタル材料を含めるかについての意見交換が委員会内で行われた。その結果、最終的に公開への時間的制約を考慮して今回は保険収載のものを優先したガイドラインとし、次回以降にノンメタル材料を含めていくことが提案され、委員会内で承認された。今後 SR チームを編成し文献の選定を行う予定である。

5) ガイドラインワークショップ等への参加

日本歯科医学会「系統的レビューワークショップ（診療ガイドライン作成に向けて）」

（参加予定 5 月 15 日開催）（水口委員）

5 月 15 日に web 開催されるとの連絡を受けた。

6) 令和 2 年度 JDSR 執筆者推薦

日本歯科医師会より令和 2 年度 JDSR 執筆者推薦の依頼があり、本ガイドライン委員である水口委員を推薦した。

公益社団法人 日本歯科医師会 事業部 学術課・日本歯科医学会事務局より正式な執筆依頼を賜り、タイトル「Managements of sleep bruxism in adult: A systematic review」にてお引き受けする旨の返答をした。現在、執筆準備を行っている。

IX. 教育問題検討委員会

1. 委員会構成

委員長：飯沼利光

副委員長：菊池雅彦

委員：田口則宏，権田知也，鷹岡竜一，
長谷川陽子

幹事：池田貴之

2. 活動状況

活動の目的

卒前卒後の歯科補綴学教育のあり方に関する基準を明確に示し、専門医へのキャリアパスを明確に示すことができるように、また一般的な補綴歯科医療の水準を高められるようにすることを目的として活動を行ってきた。

令和 2 年度 6-3 月期と令和 3 年度 4-6 月期では、コロナ禍における開催となり、令和元年度第 1 回教育問題検討委員会、第 3 回、第 7 回、第 8 回を Web にて行い、第 2 回、第 4 回、第 5 回、第 6 回をメール審議とした。

1) 2006 年度版歯科補綴学教育基準の改訂

補綴歯科専門医の教育目標の策定の作成に先立

ち、2006 年度版歯科補綴学教育基準の改訂を行うこととした。

(1) 以下の資料を使用し協議を行った。

- ・歯科補綴学教育基準改訂版 2006
- ・平成 30 年版国家試験出題基準
- ・歯科補綴学専門用語集
- ・各種ガイドライン

(2) 菊池副委員長を中心に、作成した歯科補綴学教育基準の各論の素案を基に各委員で分担作業を行った。

(3) 分担作業後、とりまとめた歯科補綴学教育基準 2021（案）を委員会で確認、修正を行った。

(4) 完成した歯科補綴学教育基準 2021 を委員長会に上程し代議員からパブリックコメントを求めた。

(5) パブリックコメントについて再度委員会で討議を行い、討議の結果を歯科補綴学教育基準 2021 に反映させた。

2) 補綴歯科専門医の教育目標の策定

平成 30 年度の教育問題検討委員会で提案された「補綴歯科専門医のコンピテンシと到達目標」を精査し、継続性を有し、かつ系統立てて教育が行われるよう、各コンピテンシについて到達目標を 3 つのレベル（レベル A：大学卒業・研修歯科医・補綴歯科修練医・認定医，レベル B：補綴歯科専門医，レベル C：補綴歯科指導医）への振り分けを行い、各レベルに応じたコンピテンシー獲得のための具体的なマイルストーン（中間目標）を示した。

(1) 以下の資料を使用し協議を行った。

- ・歯科補綴学教育基準改訂版 2006
- ・平成 30 年版国家試験出題基準
- ・補綴歯科専門医のコンピテンシと到達目標

(2) 田口委員より「マイルストーンの概念について」の情報提供を受けた。

(3) 田口委員を中心に、補綴歯科専門医の教育目標の素案を作製した。

上記より、補綴歯科専門医の教育目標の完成には、まず、1) 2006 年度版歯科補綴学教育基準の改訂を優先して行い、補綴歯科専門医の教育目標との整合性が得られていることを確認する必要がある。そのため、歯科補綴学教育基準 2021 の完成を先行し行った。

これによりまとめた歯科補綴学教育基準 2021 を、補綴歯科専門医の教育目標の策定に反映させ、固定性補綴歯科治療、可撤性補綴歯科治療、高齢

者への補綴歯科治療など9項目に関する診療分野別での態度・診療能力・知識について、到達目標および経験すべき症例について検討を行った。

3) 第3回 JPS SCSC 形成ガイドライン・採点について

学術委員会より、策定した第3回 JPS SCSC 形成ガイドラインの検討依頼があった。

- (1) 以下の試料を使用して協議を行った。
 - ・学生技能コンペティション企画案
 - ・JPS SCSC 形成ガイドライン
 - ・第3回 JPS SCSC 審査評価方法
 - ・第3回 JPS SCSC 採点表
 - ・作品データ
- (2) JPS SCSC 形成ガイドラインについて資料を基にメール審議を行い特に意見はなかった。
- (3) 第3回 JPS SCSC の採点を上記資料に基づき委員全員で行った。

X. 修練医・認定医・専門医制度委員会

1. 委員会構成

委員長：河相安彦

副委員長：関根秀志

委員：石垣尚一，魚島勝美，小泉寛恭，隅田由香，高橋一也，原 哲也，若林則幸

幹事：大久保昌和

2. 活動状況

- 1) 令和2年度第4回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和2年7月4日(土)～7月11日(土) メール会議
- 2) 令和2年度第5回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和2年7月30日(木)～7月31日(金) メール会議
- 3) 令和2年度第6回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和2年8月27日(木)～8月28日(金) メール会議
- 4) 令和2年度第7回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和2年9月5日(土)～9月12日(土) メール会議
- 5) 令和2年度第8回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和2年9月15日(火)～9月26日(土) メール会議
- 6) 令和2年度第9回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和2年9月26日(土)～10月5日(月) メール会議

- 7) 令和2年度第10回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和2年10月15日(木)～10月17日(土) メール会議
- 8) 令和2年度第11回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和2年12月21日(月) メール会議
- 9) 令和2年度第12回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和3年1月30日(土) 17:00～18:30 ZoomによるWeb会議
- 10) 令和2年度第13回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和3年2月8日(月)～13日(土) メール会議
- 11) 令和2年度第14回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和3年3月2日(火)～9日(火) メール会議
- 12) 令和3年度第1回修練医・認定医・専門医制度委員会 令和3年5月6日(木) 17:30～19:30 ZoomによるWeb会議

3. 活動内容

- 1) 第129回学術大会における専門医研修会の開催
日時：令和2年6月28日(日)
13:30～15:30(120分)
会場：Web開催
テーマ：「補綴歯科専門医として身につけるべきコンピテンス(その2)」
座長：河相安彦(日大松戸)，飯沼利光(日本大)
講師：古屋純一(昭和大)，隅田由香(医歯大)
- 2) 支部における専門医研修会の開催 令和2年度専門医研修会
 - (1) 中国・四国支部専門医研修会
日時：令和2年8月30日(日)
9:20～10:50
会場：東広島芸術文化ホールくらら(Web開催追加)
テーマ：「デジタルデンティストリーの今日と明日」
講師：安部倉仁(広島大)，窪木拓男(岡山大)
座長：久保隆靖(広島大)
 - (2) 東北・北海道支部専門医研修会
日時：令和2年11月1日(日)
15:20～17:20
会場：Web開催
テーマ：「過去の知見から補綴学を再考する」
講師：山森徹雄(奥羽大)，松田謙一(大阪大)
 - (3) 関越支部専門医研修会
日時：令和2年11月8日(日)

会場：新潟県歯科医師会館（Web 開催へ変更）
 テーマ：基礎・臨床・技工から再考するジルコニア固定性補綴装置

講師：上田一彦（日歯大新潟）、西村好美（有限会社デンタルクリエーションアート）

座長：上田一彦（日歯大新潟）

(4) 西関東支部専門医研修会

日時：令和2年11月15日（日）

10:00～12:00

会場：Web 開催

テーマ：「補綴専門医としての咬合再構築に考慮すべき咬合の基本」

講師：山口泰彦（北海大）、玉置勝司（神歯大）

座長：木本克彦（神歯大）

(5) 東海支部専門医研修会

日時：令和2年11月15日（日）

14:30～17:00

会場：Web 配信

テーマ：「チタンを再考するー基礎の立場から・臨床の立場からー」

講師：玉置幸道（朝日大）、黒岩昭弘（松歯大）

座長：石神 元（朝日大）

(6) 東京支部専門医研修会

日時：令和2年11月29日（日）

15:00～17:00

会場：Web 開催

テーマ：歯科再生医療の現状と展望

講師：岩田隆紀（医歯大）、黒田真司（医歯大）

「歯科領域における骨再生の可能性と欠損補綴」

座長：若林則幸（医歯大）

(7) 九州支部専門医研修会

日時：令和2年11月29日（日）

10:30～12:30

会場：Web 開催

テーマ：「総義歯臨床の一工夫」

講師：金澤 学（医歯大）、佐藤洋平（鶴見大）

座長：荻野洋一郎（九州大）

(8) 東関東支部専門医研修会

日時：令和3年2月7日（日）

10:30～12:30

会場：京成ホテルミラマーレ（Web 開催へ変更）

テーマ：有床義歯難症例への対応ー咬合採得を中心にー

講師：佐藤洋平（鶴見大）、松丸悠一（日大松戸）

座長：岡本和彦（明海大）、河相安彦（日大松戸）

(9) 関西支部専門医研修会

日時：令和3年3月7日（日）

10:00～12:00

会場：Web 開催

テーマ：睡眠科学

講師：山口泰彦（北海道大）、奥野健太郎（大歯大）

座長：田中順子（大歯大）

(10) 東京支部専門医研修会（延期分）令和元年度専門医研修会

日時：令和3年2月14日（日）

13:00～15:00

会場：Web 開催

テーマ：最新のデジタルデンティストリー

講師：高橋英和（医歯大）、三浦宏之（医歯大）

座長：吉田恵一（医歯大）

4. その他

1) 2020年度認定医・専門医試験の実施

日時：令和2年12月13日（日）

13:00～13:50

場所：各支部の指定会場

2) 第130回学術大会における専門医研修会の企画

日時：令和3年6月20日（日）

15:10～17:10（120分）

テーマ：「補綴歯科専門医として身につけるべきコンピテンス（その3）日々の臨床にリサーチマインドを如何に連関させるか？」

座長：河相安彦（日大松戸）、飯沼利光（日本大）

講師：金澤 学（医歯大）、鈴木秀典（関西支部）、

中居伸行（関西支部）

XI. 修練医・認定医・専門医認定委員会

1. 委員会構成

委員長：大久保力廣

副委員長：南 弘之

委員：越智守生，小川 徹，小川 匠，木本克彦，
 藤井規孝，浅野 隆，小峰 太，鈴木恭典，
 岡 俊男，田中順子，水口 一，西村正宏

幹 事：佐藤洋平

2. 活動状況

1) 専門医認定委員会の開催

- (1) 令和2年10月22日 令和元年度第2回修練医・認定医・専門医認定委員会
- (2) 令和3年5月6日 令和3年度第1回修練医・認定医・専門医認定委員会
- 2) 専門医申請ケースプレゼンテーション：計38題
 - (1) 第129回学術大会 0題
 - (2) 東北・北海道支部学術大会 3題
 - (3) 東京支部学術大会 6題
 - (4) 西関東支部学術大会 3題
 - (5) 東関東支部学術大会 10題
 - (6) 関越支部学術大会 0題
 - (7) 東海支部学術大会 3題
 - (8) 関西支部学術大会 5題
 - (9) 中国四国支部学術大会 5題
 - (10) 九州支部学術大会 3題
- 3) 新規修練医，新規認定医，新規専門医，指導医，終身指導医，認定研修機関の認定
新規修練医32名，新規認定医65名，新規専門医46名，新規指導医26名，新規終身指導医10名，新規認定研修機関（甲）1機関を認定した。
- 4) 専門医，指導医，認定研修機関の更新
専門医161名，認定研修機関（甲）3機関，認定研修機関（乙）8機関の更新を認定した。
- 5) 専門医・指導医の退会に伴う資格喪失に対する審議
3名を承認した。
- 6) 新規専門医の登録申請
41名を承認した。
- 7) 認定研修機関の代表指導医交代
（甲）10件，（乙）2件を承認した。
- 8) 認定研修機関の研修機関名変更
（甲）6件を承認した。
- 9) 専門医の休止に対する報告
1名を承認した。
- 10) 専門医症例報告査読
31編（令和3年5月28日現在）の症例報告論文が投稿され査読された。尚，ケースプレゼンテーションにおける2名の審査委員が査読を担当する査読者2名体制での査読方法を継続している。

XII. 社会連携委員会

1. 委員会構成

委員長：河野文昭

副委員長：五味徳治

委員：會田英紀，吉岡 文，楨原絵理

幹 事：大倉一夫

2. 活動状況

委員会はメール会議により10回行った。各支部の市民フォーラム，生涯学習公開セミナーのテーマ，座長，講師の選定に関する協議を行った。また，2021年度生涯学習公開セミナーの共通テーマを，昨年に引き続き『健康寿命を延ばすため「食力（しょくりき）」を考える』と決定した。

令和2年度より実施した都道府県歯科医師会と共催の生涯学習公開セミナーは5件の応募があったものの2件は中止となり，3件を実施した。また，令和3年度実施要項を作成し，日本歯科医学会に令和3年度の実施についての連絡を行った。その結果，令和3年度4月30日までに4件の応募（沖縄県，相馬市，宮崎県，福島県）があり，委員会で予備審査を行った。

市民フォーラムは学会のCOVID-19感染対策を受けて，全ての支部，学術大会での実施が中止となった。

生涯学習公開セミナー以外の活動としては，ホームページの一般市民向けの「補綴歯科ってなに？」の改定に向けて，コンテンツの検討を行った。

実施した生涯学習公開セミナーは以下のとおりである。

1) 支部生涯学習公開セミナーの開催

○東北・北海道支部

日時：令和2年11月1日（日）

場所：Web開催

テーマ：「食力と補綴治療を考える」

座長：鬼原 英道（岩手医大）

講師：佐々木啓一（東北大）

小林琢也（岩手医大）

○関越支部

日時：令和2年11月8日（日）

場所：新潟県歯科医師会館講堂（新潟市）

テーマ：「健康寿命を延ばすため「食力」を考える —補綴で行う機能検査—」

座長：小出 馨（日本歯科大学新潟生命歯学部）

講師：津賀一弘（広島大）

山口泰彦（北海道大）

○東関東支部（千葉県歯科医師会と共催）

日時：令和3年2月7日（日）

場所：京成ホテルミラマーレ（千葉市）

テーマ：「デジタル化で求められる歯科医療のリテラシー」

座長：川島孝治（かわしまデンタルクリニック）
（非会員）

小見山 道 (日大松戸)

講師：星 憲幸 (神歯大)

枝川智之 (パシヤデンタルラボラトリー代表) (非会員)

講師：岡崎晃平 (船井総合研究所) (非会員)

○東京支部

日時：令和2年11月29日 (日)

場所：Web 開催

テーマ：「健康寿命を延ばすため「食力」を考える」

座長：古屋純一 (昭和大)

講師：戸原 玄 (医歯大)

原 豪志 (医歯大)

○西関東支部

日時：令和2年11月15日 (日)

場所：神奈川歯科大学附属横浜研修センター
Web 開催

テーマ：「健康寿命を延ばすため「食力」を考えるー補綴装置 (機能歯数) の意義ー」

座長：鈴木恭典 (鶴見大)

講師：前川賢治 (岡山大)

武内博朗 (西関東支部)

○東海支部

日時：令和2年11月15日 (日)

場所：Web 開催

テーマ：「健康寿命延伸のための食力向上ー我々歯科医がどうかかわるべきかー」

座長：石神 元 (朝日大)

講師：谷口裕重 (朝日大) (非会員)

窪木拓男 (岡山大)

○関西支部

日時：令和3年3月7日 (日)

場所：Web 開催

テーマ：「健康寿命を延ばすため「食力」を考える」

座長：糸田昌隆 (大歯大)

講師：池邊一典 (大阪大)

高橋一也 (大歯大)

○中国・四国支部

日時：令和2年8月29日 (土)

場所：東広島芸術文化ホール くらら (東広島市)
Web 開催

テーマ：健康寿命を延ばすため「食力」を考える

座長：松香芳三 (徳島大)

講師：皆木省吾 (岡山大)

吉田光由 (広島大)

○九州支部

日時：令和2年11月29日 (日)

場所：九州大学歯学部講義室 AB (福岡市) Web 開催

テーマ：健康寿命を延ばすため「食力」を考える
超高齢社会の部分床義歯臨床ー欠損歯列の経時的変化と対応ー

座長：古谷野潔 (九州大)

講師：永田省蔵 (医療法人 永田歯科クリニック)
谷田部 優 (千駄木あおば歯科)

2) 県歯科医師会と共催の生涯学習公開セミナー

○奈良県歯科医師会 (関西支部) 中止

日時：令和2年8月2日 (日)

場所：奈良県歯科医師会館 (奈良市)

テーマ：CAD/CAM テクノロジーを用いた歯冠修復の勘どころ

座長：大川周治 (明海大)

講師：末瀬一彦 (大歯大)

峯 篤史 (大阪大)

○島根県歯科医師会 (中国・四国支部)

日時：令和2年10月11日 (日)

場所：Web 開催

テーマ：CAD / CAM 冠を極める

座長：大倉一夫 (徳島大) 社会連携委員会

講師：安部倉 仁 (広島大)

前川賢治 (岡山大)

○鳥取県歯科医師会 (中国・四国支部)

日時：令和2年12月13日 (日)

場所：鳥取県歯科医師会館 (鳥取市) Web 開催

テーマ：日常臨床における部分床義歯の勘どころ

座長：大倉一夫 (徳島大) 社会連携委員会

講師：渡邊 恵 (徳島大)

原 哲也 (徳島大)

○福岡県歯科医師会 (九州支部)

日時：令和3年1月10日 (日)

場所：Web 開催

テーマ：CAD / CAM 冠を極める

座長：榎原絵理 (九歯大) 社会連携委員会

講師：南 弘之 (鹿児島大)

松永興昌 (松永歯科クリニック)

○鶴見歯科医師会

開催に向けて交渉中に、中止決定

XIII. 国際渉外委員会

1. 委員会構成

委員長：津賀一弘

副委員長：築山能大

委員：古屋純一，萩原芳幸，竜正大，松香芳三，
近藤祐介

幹事：土井一矢

2. 活動状況

1) 各海外学会との交流

(1) Pacific Coast Society for Prosthodontics (PCSP)

a. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知

(2) Asian Academy of Prosthodontics (AAP)

a. 次期学術大会延期への対応（2021 延期予定）
b. 招待講演者依頼への対応（（下記 2）参照）
c. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
d. Hiranuma-JPS Award の提供

(3) Indian Prosthodontic Society (IPS)

a. 48th IPS National Conference (WEB 開催) へ招待講演者の派遣（（下記 2）参照）
b. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知
c. 留学生受け入れ（コロナ感染症のため受け入れ中止）

(4) Greater New York Academy of Prosthodontics (GNYAP)

a. 学術大会中止への対応

(5) International Association for Dental Research (IADR)

a. Pre-Prosthetic Regenerative Science Award の提供

(6) American Prosthodontic Society (APS)

a. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知

(7) International College of Prosthodontists (ICP)

a. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知

(8) Asian Academy of Osseointegration (AAO)

a. HP，メールマガジンによる本会会員へ学会開催の周知

(9) The 7th Biennial Joint Congress of JPS-CPS-

KAP

a. 学会開催を支援

2) 海外派遣招待講演者の選定

48th IPS National Conference 2020: Dr. Kamae Yoshinori, Dr. Ryota, Takaoka

12th Biennial Congress of AAP: Dr. Shinichiro Kuroshima

XIV. 規程検討委員会

1. 委員会構成

委員長：武部 純

副委員長：越野 寿

委員：小峰 太，飯田 崇，大野 彩

幹事：安藤彰浩

2. 活動状況

1) 委員会開催

各委員会等からの発議を受けた規程等改正案および制定案について，条文としての文言の整合性確認と改正を行うために，委員会をメール会議形式で7回開催した。理事会等により審議・承認の得られた規程等を取り纏め，学会 HP 上の規程集を2回更新した。

(1) 第1回（メール会議）：令和2年6月15日（月）～令和2年6月16日（火）

(2) 第2回（メール会議）：令和2年6月26日（金）～令和2年7月28日（火）

(3) 第3回（メール会議）：令和2年10月1日（木）～令和2年10月16日（金）

(4) 第4回（メール会議）：令和2年11月2日（月）～令和2年11月9日（月）

(5) 第5回（メール会議）：令和3年1月19日（火）～令和3年1月22日（金）

(6) 第6回（メール会議）：令和3年3月9日（火）～令和3年3月13日（土）

(7) 第7回（メール会議）：令和3年4月6日（火）～令和3年4月27日（火）

2) 制定した規程

(1) 40 研究補助金の取り扱いに関する規程（令和3年5月21日制定）

(2) 56 登録歯科技工士制度規則（令和3年5月21日制定）

3) 改正した規程，規則，細則，および申し合わせ

(1) 60 JPR 投稿規程（令和2年9月11日改正）

(2) 44 次々期理事長候補適任者選挙規則（令和3年

6月18日改正)

- (3) 32-2 倫理審査委員会規則 (令和2年12月11日改正)

4) 廃止した規程

該当なし

5) 改正した支部規則

該当なし

6) 今期の主たる改正内容

(1) 規程集の整備について

規程集の「目次から指定の規程へのジャンプ」と「目次へ戻る」機能を付けたデータを委員内で作成した。また、規程集の最後の頁に、各規程から抜粋した様式と申請書の項目をまとめ、「様式 / 申請書の索引」を新たに組み込み、そこから本会ホームページ掲載の様式や申請書へリンクできる整備を行った。

「ジャンプ機能」および「様式と申請書へのリンク機能」が搭載された規程集、これらの機能が搭載されていない従来通りの規程集の2パターンを本会HPへ掲載することとなった。

(2) 60 JPR 投稿規程 (令和2年9月11日改正)

エルゼビア社からJ-STAGEへの出版体制の変更に伴う文言の一部改正。

(3) 44 次々期理事長候補適任者選挙規則 (令和3年6月18日改正)

- ・第6条 「ただし、第一回投票において代議員総数の過半数の得票を得た者が被推薦者となることを承諾した場合は、第二回投票は信任投票として行う。」の文言の追加。
- ・第10条 (1) 第一回投票の結果は、開票終了後すみやかに、得票数上位5位までの者の氏名、各得票数および有効得票総数、有効投票総数を代議員に通知、公表する。なお、第一回投票において、代議員総数の過半数の得票者が、被推薦者となることを承諾した場合は、第二回投票を信任投票として行うことを代議員に通知する。
- ・第10条 (3) 次々期理事長候補適任者が決定した場合、決定に至るまでの投票の結果とともに、各被推薦者の得票数および有効投票総数を代議員に通知する。

(4) 32-2 倫理審査委員会規則 (令和2年12月11日改正)

- ・第2条 2 「本申請者は、本会の学術大会ないしは支部学術大会で発表、もしくは日本補綴歯科学会雑誌に投稿する者とする。」の文言の追加。

XV. 用語検討委員会

1. 委員会構成

委員長：岡崎定司

副委員長：鱒見進一

委員：北川 昇, 古地美佳, 村上 格, 横山正起

幹事：山本さつき

2. 活動状況

電子メールによる連絡会議で以下の活動を行った。

1) 歯科補綴学専門用語集第5版の修正

2020年12月、歯科補綴学専門用語集第5版の増刷時に英語表記の修正を行った。

2) 歯科補綴学専門用語集第6版の改定に向けての準備

(1) 専門用語集に対する意見を募るメールフォームの設定

専門用語集に対して期限や対象を設けず、広く意見を募るために本学会のHPにメールフォームを設定した。

(2) 「補綴装置」の説明文を変更するにあたっての検討

本学会として「口腔内装置」を補綴専門医が取り扱う装置として認識しているが、歯科補綴学専門用語集第5版で「口腔内装置」は見出し語ではない。本委員会では「口腔内装置」を見出し語として追加し「補綴装置」の説明文で関連を明確にする必要があると判断した。しかし「補綴装置」の説明文を変更することは学会としても重要な項目と考え、本委員会だけではなく学会全体として検討するべく、委員長会に上程した。

(3) 「咬頭嵌合位」と「中心咬合位」の説明文を変更するにあたっての検討

歯科補綴学専門用語集第5版の中心咬合位の説明文1)に「咬頭嵌合位と同義」とある。GPT 9で「centric occlusion」は「下顎が中心位で咬合したときの対向する歯列の咬合位」となった。これを受けて歯科補綴学専門用語集も変更が必要と考えたが、この変更についても本学会の理事、監事、委員長から意見を賜るべく委員長会に上程した。

(4) その他

次回改定に向けて、変更が必要な箇所の抽出と検討内容を次期委員会に申し送りができるよ

うまとめた。

XVI. 研究企画推進委員会

1. 委員会構成

委員長：服部佳功

副委員長：澤瀬 隆

委員：上田康夫，羽鳥弘毅，橋本和佳，沖 和広，
今井敦子

幹 事：山口哲史

2. 活動状況

1) 委員会開催

なし

2) 「健康な食事・食環境」コンソーシアムへの参画

- (1) 2020年7月18日開催の「健康な食事・食環境」コンソーシアム会議および第4回認証審査委員会（Web会議）に参加し，新規申請分の認証評価を行うとともに，制度の持続可能性の観点から，受審料や賛助金制度について議論した。
 - (2) 10月のコンソーシアム会議において，今後の運営体制が議論された。
 - a. 2023年7月を目途に本コンソーシアムを一般社団法人化し，安定した運営体制の確立をはかる方針が承認された。
 - b. 本コンソーシアムの運営に年間150万円ほどの事業収入が必要であることから，新規審査ならびに更新審査に際して適切額の審査料を徴収するとともに，関連する研究助成，事業助成に積極的に応募することが承認された。
 - c. 経済産業省「ヘルスケアサービスガイドライン等のあり方」に係る宣言書の提出や，厚生労働省「スマートライフプロジェクト」との連携が，今後の活動方針として承認された。
 - (3) 本コンソーシアムは，外食，中食，給食のそれぞれについて，健康な食環境を整備し，健康に資する食事を提供する店舗や事業所を認証する制度であるが，これまでの対象はいわゆる常食に限られる。本学会は，本コンソーシアムに参加する歯学系唯一の学術団体として，食機能の低下者向けの食事に対象を拡大することを提案したが，果たされていない。次年度以降，継続的な取り組みが望まれる。
- #### 3) 日本老年精神医学会との共同研究の推進
- (1) 本学会と老年精神医学会との共同研究プロジェクト（（通称）認知症プロジェクト）は，2021

年1月12日のオンライン会議を経て研究企画が進捗し，両学会に日本老年歯科医学会，認知症と口腔機能研究会を加えた4団体によるより包括的な共同研究プロジェクトとして内容が検討されることとなった。本年2月開催の日本老年精神医学会理事会にて実施に関する了承が得られた。

- (2) 認知機能の口腔との関わりを1,000人規模の横断（ケースコントロール）研究とこれに続く追跡期間3年間の縦断研究により検討し，認知症発症の口腔関連因子・口腔リスク因子の同定を目指す。口腔機能低下が認知症リスク因子であることをLancet誌に報告することが終極の目標とされる。
- (3) 研究企画推進委員会では，研究計画策定後に参加施設を学会内で公募する予定であったが，当面のアンケート調査は本プロジェクトを企画したメンバーのみで実施し，その後一般会員を対象とした大規模な調査を，グーグルフォームを用いたオンライン形式で実施する予定とのことである。アンケート調査後の研究の参加施設公募については，老年精神医学会等との今後の協議に委ねられる予定である。

XVII. 特命委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：村田比呂司

委員：越野 寿，小山重人，吉川峰加

幹 事：黒木唯文

2. 活動状況

特命委員会では下記の会議（メール会議）を行なった。

令和3年2月15日（月）令和2年度第2回特命委員会（メール会議）

令和3年2月26日（金）令和2年度第3回特命委員会（メール会議）

令和3年3月9日（火）令和2年度第4回特命委員会（メール会議）

令和3年5月11日（火）令和3年度第1回特命委員会（メール会議）

令和3年6月7日（月）令和3年度第2回特命委員会（メール会議）

上記の会議を通じて，主として日本補綴歯科学会登録歯科技工士制度，同登録歯科衛生士制度（仮称）の

制定に関する協議および補綴歯科医療の大規模災害等の緊急時に果たす役割に関する情報収集（文献リスト作成）を行った。

そのなかで日本補綴歯科学会登録歯科技工士制度については、制度設計を行い、登録歯科技工士の認定要件、申請方法、許諾内容等を決定した。また、会員証やホームページ用掲載資料の作成も行った。規程検討委員会とともに規則、申請書類等の整備も行った。今後は公認会計士の確認を経たのち「公1」事業の軽微な変更として、内閣府に「変更届」を提出する予定とのことである。なお登録歯科衛生士制度（仮称）の制定については今後の検討課題である。

XVIII. 倫理審査委員会

1. 委員会構成

委員長：中本哲自

副委員長：馬場一美

委員：月村直樹、篠原光代、真野 博、正岡直樹

幹事：長谷川ユカ

2. 活動状況

令和2年度6-3月期

1) 倫理審査対象の明確化

規程32-2 第2章 第2条の2

「本申請者は、本会が主催する学術大会で発表、もしくは本会が発行する学会誌に投稿する者とする。」

2) 本会ホームページ上の研究倫理関連リンクの修正

令和3年度4-6月期

特になし。

XIX. 利益相反委員会

1. 委員会構成

委員長：都尾元宣

副委員長：志賀 博

委員：真野 博

幹事：岩堀正俊

2. 活動状況

令和元年度6-3月期および令和2年度4-6月期に開催された理事会、委員長会において、利益相反に関する事項に関し、必要に応じて各委員にメールにて連絡を行った。

また、本委員会は利益相反状態にある本学会会員

（主に開業医、勤務医）からの質問、要望への対応を行い、当該者からの申し出があった時点でその旨を事務局あるいは総務から通知を受けて委員会を開催する。令和2年度6-3月期および令和3年度4-6月期、現在までに申請が行われたのは、令和3年2月に1件、令和3年3月に1件、の合計2件であった。

XX. 優秀論文賞推薦委員会

1. 委員会構成

委員長：馬場一美

委員：志賀 博、水口俊介、細川隆司、大久保力廣、松村英雄

2. 活動状況

令和2年度優秀論文賞受賞候補者の選考について

令和3年3月5日に委員会を開催した。規程に基づき検討した結果、学会論文賞候補者1件1名、奨励論文賞候補者5名、JPR Best Paper Award Review Article 部門候補者1件1名、JPR Best Paper Award Original Article 部門候補者1件2名をそれぞれ選考して理事長に推薦し、令和2年度公益社団法人日本補綴歯科学会第2回定時理事会（令和3年3月26日）において承認された。

【学会論文賞】

1) 松香芳三（徳島大）【筆頭演者、連絡責任著者】

「The role of chemical transmitters in neuron-glia interaction and pain in sensory ganglion. Neurosci Biobehav Rev 2020 108:393-399.」

【奨励論文賞】

1) 中谷早希（大阪大学）

「Effectiveness of pretreatment with phosphoric acid, sodium hypochlorite and sulfinic acid sodium salt on root canal dentin resin bonding. J Prosthodont Res 2020 64:272-280.」

2) 古賀小百合（九州大学）

「Oral health-related quality of life and oral hygiene condition in patients with maxillofacial defects: A retrospective analysis. J Prosthodont Res 2020 64:397-400.」

3) 本田順一（日本大学）

「Fracture loads of screw-retained implant-supported zirconia prostheses after thermal and mechanical stress. J Prosthodont Res 2020 64:313-318.」

4) 八田昂大 (大阪大学)

「Occlusal force predicted cognitive decline among 70- and 80-year-old Japanese: A 3-year prospective cohort study. J Prosthodont Res 2020 64:175-181.」

5) 楠本友里子 (昭和大学)

「Impact of implant superstructure type on oral health-related quality of life in edentulous patients. Clin Implant Dent Relat Res 2020 22:319-324.」

【JPR Best Paper Award Review Article 部門】

1) Hiroyasu Koizumi (Nihon University) 【筆頭著者, 連絡責任著者, 研究統括者】

「Application of titanium and titanium alloys to fixed dental prostheses. J Prosthodont Res 2019 63:266-270.」

【JPR Best Paper Award Original Article 部門】

1) Ji-Young Sim (Korea University) 【筆頭著者】

Ji-Hwan Kim (Korea University) 【連絡責任著者, 研究統括者】

「Comparing the accuracy (trueness and precision) of models of fixed dental prostheses

fabricated by digital and conventional workflows. J Prosthodont Res 2019 63:25-30.」

XXI. 学会賞推薦委員会

1. 委員会構成

委員長：志賀 博

委員：水口俊介, 山口泰彦, 大久保力廣, 市川哲雄

2. 活動状況

令和2年度日本補綴歯科学会学会賞推薦委員会を令和3年3月5日に開催し、資料をもとに審議の結果、令和元年度日本補綴歯科学会特別功労賞には、櫻井 薫名誉会員、矢谷博文代議員の2名と、医歯薬出版株式会社、長田電機工業株式会社、昭和薬品化工株式会社の3社が、また、令和2年度日本補綴歯科学会学術賞には、市川哲雄会員、志賀 博会員、皆木省吾会員の3名がそれぞれ候補者として全会一致で選出され、所定の書類を添えて、理事長に推薦し、令和2年度公益社団法人日本補綴歯科学会第2回定時理事会（令和3年3月26日）において承認された。